

『にこにこ親子ひろば』だより

令和7年6月発行

奈良市立都祁こども園

驚くほど早く梅雨が明け暑い夏がやってきました。熱中症予防のため温度計とにらめっこの毎日です。
5月からスタートした『にこにこ親子ひろば』ですが、子ども達の笑顔にパワーをもらっています。『ひろば』では、子ども達だけではなく保護者の皆様も気持ちをリフレッシュいただけるようにしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【主な遊び】

- ・保育室・・・ままごと 型はめ パズル 絵本 線路など好きな遊びをしましょう
- ・製作活動・・・かいたり貼ったりしましょう（7月の製作）
- ・絵本や紙芝居などを見ましょう
- ・音楽に合わせて歌ったり、身体を動かしたりしましょう
- ・リズム室で遊びましょう（たなばたまつり など）
- ・水遊びをしましょう



*1. 2歳児は人数が増えるまで、クラス関係なく合同で過ごします。

【7月の予定】赤字は開催日を変更しています。

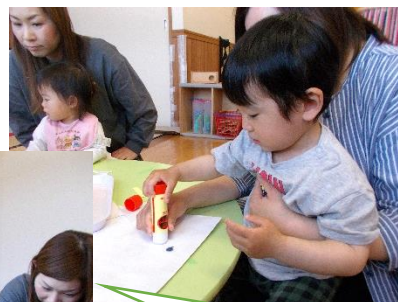


実施日	内容
7月 4日（金）（全員）	園の行事に参加しましょう『たなばた夏まつり』
7月 8日（火）（1. 2歳児）	8月の製作遊び
7月16日（水）（1. 2歳児）	移動図書 絵本の読み聞かせ 水遊び 身体測定

【5月・6月を振り返って】



久しぶり！よろしくね！



5月の製作『こいのぼり』



移動図書がやってきました



お外で元気に遊びました。





リズム室で園のお友達と遊びました。



新聞紙をちぎって…



おもちゃ作り。



七夕飾りを作りました。



佐々木先生の言葉



～3歳までの子育てに大切なたった5つのこと～

多くの親が、我が子の将来を考え、様々に手をつくして、子育てをしているのではないのでしょうか？
親は我が子の将来を思う時、子どもをこう育てたい、こんな力を育てたいと願います。それは言ってしまうと親にとっての理想で、子ども自身がそうなりたいと願っているわけではないのです。幼い子どもが親に求めているのは、今のありのままの自分を認めてもらうことで、将来ではありません。

0歳～3歳くらいの幼い子どもは、親の思い通りにならないものです。むしろ、泣いたり、だだをこねたりして、親にいろいろと要求するのが普通です。そういう時期の子どもに対して「こんなふうに育てほしい」と要求してもうまくいきませんよね。うまくいかないどころか、子どもの心に、願いが叶わなかったという失望や、できないことを要求されたという不全感が残ってしまいます。

子育ての基本は、子どもの要求にこたえることです。すべてがそこから始まります。子どもが望むような育て方をしてあげるんです。希望が叶ったという事実は、子どもの深い所に必ず残ります。親は信頼できる、自分が大切にされているという思いが残るんです。その気持ちが将来の基盤になります。逆に言えば、子育てをする中でどこかで一度、子どもの要求にしっかりとこたえなければならないという事です。子どもが大きくなればなるほど、要求にこたえるのは難しくなりますよ。思春期になってから子どもの心を満たすのは大変でしょう。

子どもの望みにどこまでこたえればよいのか。理想をいえば「どこまでも」です。四六時中、子どものことだけをしているわけにはいかないでしょう。でも、できるかぎりこたえようと思って、一緒にいる時間を過ごしていれば、その思いは必ず子どもに伝わります。重要なのは時間の長さではなく、過ごし方の質です。今この子を幸せにしてあげようと思いをかけることの積み重ねが子どもの心を育てていくのです。その結果、要求はむしろ減っていきます。それが『自立』です。

望みにこたえる方法はいくつもありますが、5つ紹介します。

- ① 遠くから見守る…子どものしていることをじっと見つめていてください。
- ② ほぼ笑みを返す…子どもが笑いかけたら何度でも笑顔を返しましょう。
- ③ 泣いたらあやす…何千回も何万回でも、泣くたびにあやしてあげるのです。
- ④ できるまで待つ…自分でやりたがったときには、手を貸さずに待ちます。
- ⑤ いっしょに遊ぶ…遊びに付き合うのではなく、親も遊ぶことを楽しんで。



都立こども園ホームページ・東京都ホームページ
www.city.matsuyama.lg.jp

参考文献 『3歳までの子育てに大切な たった5つのこと』

児童精神科医 佐々木正美

